

令和3年度 年次報告のとりまとめ方法

科学技術・学術審議会 測地学分科会地震火山観測研究計画部会において、「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次）」（以下、本計画）の推進についての審議等を実施しています。令和3年度の研究成果に関しても、同部会において取りまとめることになっています。同事務局が、東京大学地震研究所に設置されている地震・火山噴火予知研究協議会（以下、予知協議会）と緊密に連携しながら効率的にとりまとめ作業を行います。

成果管理システムを利用した報告書の提出

令和3年度年次報告の提出にあたり、前年度までと同様「成果管理システム」を利用します。課題の連絡担当者（課題担当者）が「成果管理システム」の web にアクセスし、パスワード認証後、必要な報告事項（テキスト、イメージファイル）をアップロードして、システム上で pdf ファイルを作成することで、報告書の提出となります。

今年度の年次報告では、入力項目が追加または細分化されています。令和3年度の成果の概要（概要、関連する建議項目への貢献状況）、主な成果物（論文・報告書等、学会発表等、調査・観測のメタ情報等）、令和4年度実施計画の概要を記載していただきます。なお、今年度は、中間評価およびレビュー報告書作成のため、6月に入力いただいた内容が既に入力されています項目もありますので、適宜加筆修正を行っていただくことになります。

システムは予知協議会によって設置し、測地学分科会事務局と共同で管理します。ただし各機関の代表者に、その機関における研究課題・観測項目の一部情報管理を依頼させていただきますことがあります。

システムサーバの URL は次の通りです。（移転作業を行ったため、これまでと異なります。また、これまでのサーバは年内に廃止する予定です。）

<https://yotikyo2.eri.u-tokyo.ac.jp/r3/>

報告書提出に係る日程

1月上旬頃	測地学分科会事務局より各機関に報告書提出の依頼 連絡担当者への ID/PW 発行とシステム案内の通知
2月中旬頃	報告書提出締め切り
3月1～3日	成果報告シンポジウム（オンライン）に利用 基本的には電子媒体での資料提供
5月～6月	令和3年度年次報告【機関別】としてとりまとめ
8月～9月	令和3年度年次報告【成果の概要】のとりまとめ

令和3年度成果報告シンポジウム（案）

日程：令和4年3月1日（火）～3月3日（木）

会場：オンライン開催（予定）

主催：地震・火山噴火予知研究協議会

共催：東京大学地震研究所、京都大学防災研究所（予定）

後援：文部科学省、防災科学技術研究所、海洋研究開発機構、産業技術総合研究所地質調査総合センター、国土地理院、気象庁、海上保安庁、日本地震学会、日本火山学会、日本測地学会（予定）

プログラム等詳細は地震・火山噴火予知研究協議会ホームページに掲載します。

<https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/YOTIKYO/>